

### 準備

①指示内容と採血管を照合する



検体採取リストで  
・実施日時  
・患者氏名と患者ID  
・指示内容  
・採血管の種類  
を照合する。

②患者確認後、採血管を照合する



1) 患者氏名を名乗ってもらう。  
2) リストバンドで患者氏名を確認する。  
3) リストバンドの患者氏名・患者IDと  
検体 ラベルの患者氏名・患者IDを  
照合する。

③針捨てBOXを利き手側に設置する



### 穿刺

④手指消毒後、手袋を着用する



⑤駆血し、穿刺部位を確認後、採血する



\* 手関節付近と肘関節内側の穿刺を避ける。  
・しびれや異常な痛みがあれば、  
すぐに知らせるように説明する。  
・針穿刺後、しびれや異常な痛みを  
訴えた場合は、すぐに抜針する。



\* 採血中の採血管は、  
穿刺部より常に低い  
位置に保つ。

### 終了後

⑩手袋を脱ぎ、手指衛生を行う



手袋は感染性廃棄物とする。

⑨駆血帯を処理する



1) 駆血帯をアルコール綿で拭く。  
2) 使用後のアルコール綿は、  
感染性廃棄物とする。  
\* 駆血帯に血液付着がある  
場合は感染性廃棄物とする。

⑧リストバンドと(採血後の)採血管を照合する



リストバンドの  
患者氏名・患者IDと  
検体ラベルの  
患者氏名・患者IDを  
照合する。

⑦翼状針付き採血ホルダーを廃棄する



1) 採血ホルダーと翼状針は分解せず、  
そのまま針捨てBOXに廃棄する。  
2) 針廃棄後、針捨てBOXの蓋を閉じる。

⑥抜針する



1) 採血ホルダーから採血管を外す。  
2) 駆血帯を外す。  
3) 翼状針の安全機能を作動させて  
抜針する。

・抜針部を5分間押さえる。  
・患者に押さえてもらってもよい。

